

令和元年度 第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時	令和2年3月2日(月) 13時30分から15時まで	
開催場所	多摩区役所 11階 1101会議室	
出席者の氏名	委員	<p>有北いくこ(多摩区こども総合支援連携会議)</p> <p>内田由美子(多摩区社会福祉協議会地域課)</p> <p>大澤敏夫(菅地区社会福祉協議会)</p> <p>和秀俊(田園調布学園大学)</p> <p>木澤静雄(登戸地区社会福祉協議会)</p> <p>岸忠宏(多摩区医師会)</p> <p>小林由紀(地域包括支援センター(しゅくがわら))</p> <p>近藤充紀(多摩区民生委員児童委員協議会)</p> <p>田村弘志(多摩区社会福祉協議会)</p> <p>古谷欣治(中野島地区社会福祉協議会)</p> <p>山口正芳(区長推薦)</p> <p>山本望(多摩区地域自立支援協議会)</p> <p>吉田輝久(多摩区町内会連合会)</p>
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部会議幹事 会委員・事務局	<p>望月明弘(副区長)</p> <p>伊藤公一(危機管理担当課長)</p> <p>今村健二(総務課長)</p> <p>岩上雅博(企画課長)</p> <p>吉澤朋充(地域振興課長)</p> <p>宮館政幸(生涯学習支援課長)</p> <p>徳永のり子(児童家庭課長)</p> <p>森田博志(高齢・障害課長)</p> <p>岩崎美穂(保護第1課長)</p> <p>田中仁志(道路公園センター管理課長)</p> <p>飯土井哲夫(地域みまもり支援センター所長)</p> <p>塚本和秀(地域みまもり支援センター副所長)</p> <p>眞川幸治(地域みまもり支援センター担当課長)</p> <p>高橋みゆき(地域支援課長)</p> <p>高橋真奈美(地区支援第1係長)</p> <p>中村すみ子(地区支援第2係長)</p> <p>正木久美子(地域サポート係長)</p> <p>瀧 真由美(地域ケア推進課長)</p> <p>倉真佐恵(企画調整係長係長)</p> <p>青柳美登理(地域ケア推進課)</p> <p>萩原奈々恵(地域ケア推進課)</p>
欠席委員	<p>青木義明(多摩区食生活改善推進員連絡協議会)</p> <p>大津努(稲田地区社会福祉協議会)</p>	<p>岡本次郎(多摩区老人クラブ連合会)</p> <p>清川享二(生田地区社会福祉協議会)</p> <p>吉田稔(多摩区商店街連合会)</p>
議事	<p>(1) 多摩区地域包括ケアシステムの取組状況</p> <p>(2) 多摩区地区カルテについて</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>第5期 多摩区地域福祉計画 基本目標1～基本目標3について</p> <p>(4) その他</p>	
傍聴人の数	なし	

<p>配付資料</p>	<p>会議次第 資料1…名簿 資料2…多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱 資料3…令和元年度 第1回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録 資料4-1…令和元年度 地域包括ケアシステム推進に向けた取組／ 地域包括ケアシステム推進に向けた取組の進捗状況 資料4-2…多摩区カフェまっふ 資料4-3…2019年度 生田ご近所パワーアップ集会レポート 資料5…多摩区地区カルテ 資料6-1…第5期多摩区地域福祉計画 中間評価 資料6-2…第6期計画策定スケジュール 冊子資料…第5期多摩区地域福祉計画</p>
-------------	--

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局 (瀧課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 開会の挨拶 ・会議録のための録音設置、傍聴者等の説明
望月副区長	<ul style="list-style-type: none"> ・副区長から挨拶
事務局 (瀧課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認
事務局 (瀧課長)	<p>議事運営のために委員の中から座長を選出していただきたい。事務局としては前回も座長として進行していただいた和委員にお願いしたいと考えているが、いかがか。</p> <p>(一同承認)</p> <p>それでは、この後の議事の進行は和委員に座長をお願いしたい。</p>
和座長	<p>今回も仰せつかいましたので頑張って進めて行きたいと思う。</p> <p>和です、よろしくお願いします。</p> <p>田園調布学園大学でも18日に卒業式が予定されていたが、中止が決定した。その理由は福祉と保育の人材を育てているので、4月1日から福祉や保育の現場に出る学生が、(新型コロナウイルスに)感染してしまうと大変なことになるという理由で、大学のトップが判断した。</p> <p>そのような中、多摩区で地域福祉や保健、医療など皆様のお力でここまで来ることができた。ぜひ来期に向けて本日は皆様方から屈託のないご意見をいただけるとありがたい。</p> <p>それでは、議事(1)多摩区地域包括ケアシステムの取組状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (萩原)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事(1)について、資料4-1、4-2、4-3を用いて説明
和座長	何か質問やご意見があればお願いしたい。
田村委員	<p>説明のあった各イベントで講師やコーディネーターとあり、ルーテル学院大学名誉教授、東京都健康長寿医療センター研究所非常勤研究員と役職名があるが、講師の氏名は載せない方がいいのか。</p> <p>今後、イベントなど企画する際、このような先生をお呼びしたいなど参考になればいいと考え質問した。</p>
事務局 (萩原)	<p>紙面の都合でこの形で資料を作成したが、この場でお伝えする。</p> <p>講師やコーディネーターを依頼した方々の氏名のご紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生田地区：小池隆生教授、鈴木奈穂美教授 ・登戸地区：和田敏明名誉教授 ・中野島地区：根本研究員

発言者	発言要旨
和座長	<p>ボリュームのある内容なのでゆっくりお目通しいただき、ご質問等があれば事務局へお問い合わせいただければと思う。</p> <p>それでは議事（２）多摩区地区カルテについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （倉）	<p>・議事（２）について資料５を用いて説明</p>
和座長	<p>質問やご意見があればお願いしたい。</p>
有北委員	<p>地区カルテを拝見して、最後の１枚の「住民の声」、そして裏側の「行政から見た気づき」、「地区の特徴・課題」や「当面の方向性」を拝見した。</p> <p>私は民生委員もやっているが、民生委員のことはどこに出ているのかと見てみたがどこにも出ていないようで。民生委員のことをこの中には入れていただくことはできるのか。</p>
事務局 （倉）	<p>地域資源の１つとして「町内会」「自主防災組織」の後に載せさせていただいている。</p>
有北委員	<p>もう少し詳しく載せていただけるとありがたい。民生委員をやっているも「民生委員って何やっているの？」とよく尋ねられるもので。せっかくカルテとして作っていただいて、地域の方の一番身近なところにいるのが民生委員や主任児童委員かと思うので、もう少し詳しい記載を加えていただけると嬉しい。</p>
和座長	<p>菅地区の地区カルテを見ると、「当面の方向性」の上から２つ目に「キーパーソンヒアリングの継続による地域の全体像の把握」とあるが、地域のキーパーソンに「民生委員」と書いてあるので、実はこれからなのかなと思う。</p> <p>地区カルテは川崎市７区で作っていて、これのいい点は、地域の強みであったり弱みであったり、地域で行われている取組や行政の気づきなど、今まで積み重ねてきた情報を整理している所。「強み」と「弱み」を題材にして、これからソーシャルデザインセンター（以下SDC）も立ち上がると思うので、皆様が共有できるというところがとてもいいところだと思う。また、事務局の説明のとおり、順次バージョンアップしていく、みんなで作っていくことで自分ごとになっていくという点でも、とてもいいツールだと思うので、委員の皆様にもご協力いただき、いいカルテづくりをしていただければと思う。</p>
山口委員	<p>地区カルテをどういうところで配り、皆様に見ていただくのか。多摩区全家庭に配るのかなど、その辺りがよく分からない。本日のような会議の場で配られたとしても、民生委員一人ひとりが見ているかも分からない。せっかく作ったものを今後どのように利用していくのか。せっかく作っているのでよく利用してもらいたい。</p> <p>先日、私の地域の地域包括支援センターで会議があったが、そのときもこ</p>

発言者	発言要旨
	<p>のカルテの説明があり、その時もいいものができたんじゃないか、地域づくりでこういう動きがあるということを、皆様に発表したほうがいいのではないかという話が出ていた。</p> <p>私は公園体操をやっているので参加者に配りたいと考えたが、どの程度まで地区カルテを配布していいのかということをお教えいただきたい。</p>
<p>事務局 (倉)</p>	<p>地域へヒアリングに出向く際や(地域包括支援センターで開催する)圏域会議にお邪魔し、地区カルテの情報提供を始めたところ。来年度のはじめに各区地区カルテが全市一斉にホームページで公開される予定である。</p> <p>「行政からの気づき」などの項目は住民の方との対話を進めるためには利用していく部分だが、ホームページに掲載しない予定。ホームページ公開範囲については検討中。</p> <p>ホームページでの公開に合わせ、各民児協や地区社協、町連にもご説明にまわらせていただきたいと考えている。</p>
<p>吉田輝久委員</p>	<p>地区カルテを拝見させていただいたが、私の住む生田地区のカルテは民生委員児童委員協議会ごとにまとめられている。民生委員児童委員さんが、このようなことを感じているのかと、とてもいい内容が書いてあるので、これをぜひ町内会・自治会の会長にも読んでもらいたいと思う。地域ではこのような考えがあるということを町内会・自治会の会長が知ることは大切なので、ホームページ公開だけでなく(町内会・自治会の会長に冊子を)配っていただける機会があればありがたいと思った。</p>
<p>事務局 (倉)</p>	<p>生田地区は他地区に比べ規模が大きいため、地区カルテの後半のまとめ部分を地区民児協ごとにまとめさせていただいている。</p> <p>ホームページ公開だけでなく、皆様に直接お話ししながら回っていければと思う。</p>
<p>和座長</p>	<p>皆様に色々なご意見をいただけている地区カルテはとてもいいツールだと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>続いて議事3、「第5期 多摩区地域福祉計画 基本目標1～3」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (青柳)</p>	<p>・議事3について第5期多摩区地域福祉計画および資料6-1、6-2を用いて説明</p>
<p>和座長</p>	<p>第5期多摩区地域福祉計画の基本目標1から3をまとめて説明していただいた。冊子の70ページ以降に具体的な取組が掲載されているが、これらの具体的な取組を実際になされている委員の皆様に、活動されている視点から感じられていることについて、第5期の積み重ねから第6期へということで自由にご意見をいただければと思う。</p>

発言者	発言要旨
木澤委員	<p>「誰もが参加できる健康、生きがいづくり」という項目に入ると思うが、「いきいき体操、公園体操では自宅に近い公園等の様々な会場での開催により区民が健康づくり、介護予防活動に参加しやすい環境を提供できた」と書いてあるが、これは行政が提供したような書き方になっている。公園は誰でも自由に使えるが、いきいき体操は会場によっては使用料が発生しているところがある。それは全部ボランティアさんの持ち出しや受益者負担という形で活動をしている。なので、この書き方だけはいつも納得しかねると思っている。私自身もいきいき体操をやっているが、多摩区の運営委員会の予算が無くなったので、今年度で運営委員会としての活動は終了になり、今後は連絡会のような緩やかな形で集まっていこうと考えている。会場の提供などいかにも行政が提供したというような表現は活動している人にとって非常に引がかかるところ。</p> <p>これを一般の人が見たら「役所がやっている」と思われるので、この辺の書き方はもう少し考慮していただければと思う。</p>
事務局 (倉)	<p>資料6-1ではこのような表現になっているが、令和元年度の評価にあたっては、地域の住民の方と一緒にやっている活動については、行政がそれに対して何をやったのか、これからどうしていくのか、何が課題なのか、という点をポイントに評価していくように各所管課と調整していく。</p>
木澤委員	<p>よろしくお願いします。</p>
山口委員	<p>赤ちゃん、子育て、高齢者については色々なことをやっている。ところが、50代、60代のこれから高齢者になるような人たちに対するアプローチが少ないのではないかと感じている。我々（高齢者）に向けてあと20年経つとどうなるという話があるが、20年先には私たちはもういない。20年後も生活している可能性が高い人たちがやっていって、考えていただいて、若い人たちを支援するようなことをもっとやっていってもいいんじゃないかと思う。高齢者一辺倒ではなく高齢者になる前のもう少し若い世代の啓蒙というか、その辺のところをやっていただければと思う。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>地域デビューなどという言葉もあるが、その場になって考えるのではなく、事前に若い時期から積極的に地域に出るなど準備を進めておく。このようなものを、次の計画の中に組み込んでいけるか今後の議論を進めていきたいと思う。</p>
和座長	<p>基本目標2の多世代交流の地域づくり、多世代交流というところに入るかと思う。私も色々な地域に関わっているが、多世代交流というところでも子どもと高齢者というような形になる。だが山口委員がおっしゃるように、地域活動のバトンを渡したい次の世代というのは50代、60代であったりする。そういう方との交流というのもニーズに合わせてしっかりやっ</p>

発言者	発言要旨
	<p>ていかないと絵に描いた餅になってしまうと、山口委員のご意見を聞いてますます感じたところだ。来期に向けてぜひ具体的な議論を期待する。</p> <p>また、地元の町内会・自治会の活動に参加しているが、私の年齢だと一番の若手になる。ただ、周りの40代はほとんど町内会・自治会の活動には参加していない。そうすると世代を超えた交流もさることながら、バトンを渡せないということになる。町内会・自治会の加入率の問題についてもこの会議で話題に出たこともあるが、本当に必要な多世代交流について、計画の中でしっかり考えていけたらと思う。</p>
有北委員	<p>この場で発言していいか分からないが、私は多摩区のSDCに関わっており皆様のお手元に案内の資料を配布させていただいた。この中身は地域包括ケアシステム、コミュニティづくり、生涯学習であり社会教育など非常に多様なものを含んだものになる。これを市民創発で立ち上げることになり、組織を作ったが、これは地域福祉計画に含まれるのかということに疑問に感じていた。行政内の色々な部署を横串で通すところから出てこなければいけないものだと思う。今はSDCの情報を知ってほしいということで色々なところへのあいさつ回りや説明に奔走している。これは将来的に地域福祉にも大きく関わる事業で、自助・互助・共助が求められている中で区の核になってくる活動のはずだが、そのあたり行政で連携が取られているのかという点が見えてきていないので、実際に動いても壁をあちこちで感じ四苦八苦している。第6期の地域福祉計画で少しでも触れてもらうことはできないかと期待している。</p>
事務局 (倉)	<p>多摩区のSDCの立上げを含み、市ではコミュニティ施策が打ち出されており、地域包括ケアシステムを下支えするものとしている。地域づくりを考えるとSDCやコミュニティ施策は一緒に取り組むべきものであり、次期の福祉計画への掲載を考えているところ。</p> <p>先ほど説明した地区カルテの改定についてもSDCの立上げも踏まえ、情報共有をしていこうということで、区役所一丸となって取り組んでいこうという体制づくりを内部で確認している。</p>
木澤委員	<p>以前もSDCの説明を受けたことがあるが、いまひとつ設立した意味が分からない。数年後には完全に自立するという形を目指して、事業費をどう捻出していくのか、SDCで実際に仕事をする人の給与や経費など色々な課題が出てくるのかと思っている。今後は協力団体の登録をして各団体から資金を募る形になるのかと想像しているのだが、そのあたりの見通しと、どういうことを目指していくのかについて説明を伺いたいと思う。</p>
有北委員	<p>SDCはこれから育っていくもの。一委員の立場で将来も含めた全体象の説明はむずかしいため、この場ではお配りした資料についての説明をさせていただければと思う。</p>

発言者	発言要旨
望月副区長	<p>現時点ではSDCについて分かりにくい部分が多くあると思う。目的については配布したチラシをご覧いただければと思う。これまでも区民会議の意見を区政に反映させることや、まちづくり協議会など色々な仕組みの中で市民活動が行われていた。市民活動の活性化についてソフト面でのアプローチを、これまでのような行政主体ではなく、市民自身がどのような形で地域活動に参画していきたいのか、そのための仕組みを自分たちで立ち上げていくというものになる。すでに活動している人やこれから活動したい人などの色々な知恵が集まることや地域に埋もれている人材の発掘などにも期待がかけられている。団体と団体、団体と個人の色々な形のつなぎ、さらに活動の受け皿ではなく中間支援としての役割を担うものになればと考えている。資金に関しては当面は市から補助していく。ただ、将来的には3年後を目途に、NPO法人や社団法人などの組織化も含め、体制のあり方について今後議論を進めていただくのだが、自分たちで資金を回せるような形になることが基本となっている。他都市でも同様の取組があり、行政からの補助による運営ではなく、ゼロから自分たちで立ち上げて、自前で資金を回しているという事例もある。</p> <p>立ち上がったばかりの段階なので、来年具体的に何をやるかということはお配りした資料では細かく示されていないが、例示された人材育成やネットワークの構築、情報収集と発信などについて、SDCの中で協議を進めているところ。</p>
木澤委員	<p>調査、研究、課題解決の実践などと記載があるが、実際にSDCで調査や研究ができるのか。まずは現時点で活動しているたくさんの団体から情報を吸い上げる形でやっていかねばならないと思うが、そのためには大きな組織を作りそこに登録して、というような形じゃないと情報の吸い上げができないと思う。</p>
望月副区長	<p>チラシのほかに団体と個人の活動情報登録票という資料をお配りしているが、多摩区で活動している団体や個人の情報収集を進めていくものになる。</p>
和座長	<p>SDCについてはまずはこれからということで。有北委員がおっしゃっていた、地域福祉計画におけるSDCの位置づけということ考える上で、冊子の94ページをご覧いただきたい。多摩区地域福祉計画の進め方が図解されている。区民の役割から地域活動者、地域組織・関係団体の役割、事業者の役割、区社会福祉協議会の役割、区（行政）の役割、自助から公助、という流れが示されていて、次期計画においてはこの図解にSDCをどう位置づけていくのかということが大事なのかと思う。</p>

発言者	発言要旨
和座長	<p>本日この後の議論がどこまで進むかだが、今後評価していく上で区民の役割から区の行政の役割、それぞれの役割からどう評価するか、という部分が大事になってくるかと思う。そうすると、先ほどの木澤委員からのご意見の、いかにも行政がやった、みたいな評価の書きぶりも、区民の役割という点で評価を出していくと、この辺も解消されていくのかと思う。全国的にも地域福祉計画は評価の出し方が難しいと言われているので、せっかく多摩区の計画には図解があるので、こういったものに則って評価していき、来期に向けたSDCの位置づけなどを整理しながら進めてはどうかと個人的には思っている。</p>
近藤委員	<p>民生委員の立場からだが、座長が説明された冊子94ページに区社会福祉協議会の役割があるものの、民生委員の役割は入っていない。先ほど山口委員から40代から50代へのアプローチのご意見があったが、民生委員が関わる年代というのは高齢者と中学生ぐらいまでの子どもを対象にしているが、民生委員を40代や50代の方がやる例はほとんどなく、60代後半から70代の方が中心になっている。40代50代の方は暇がなく、携われない。民生委員は町内会・自治会から推薦されるという仕組みになっており、担い手探しに苦心し欠員が解消されていないのが現状。そのような状況下で、どの範囲で地域福祉計画に関わっていったらいいのか、分かりかねるところがあるのだが。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>民生委員児童委員の成り手が不足しているというのは多摩区や他区でも同様の状況。行政や様々な団体とのつなぎ役という点で大変な役割を担っていただいております、大きな期待がなされています。94ページの下部の図に地域組織・関係団体という枠の中に民生委員児童委員の記載があるが、もう少し民生委員児童委員にスポットを当て活動が伝わるような作りをすることで、民生委員の成り手不足の解消につながるのではないかというご意見かと賜った。基本は互助の取組の中に表現されることになるかと思うので、次期計画で工夫ができればいいと考えている。</p>
和座長	<p>民生委員児童委員は地域福祉には欠かせない存在で長い歴史がある。私が以前、横浜市都筑区の地域福祉計画に携わった際、民生委員児童委員のOB、OGの方にサポーターになっていただく「サポーター制度」というものを作っていた。何かあったときは気軽に相談してね、ということで次の民生委員児童委員にバトンを渡すということを丁寧にやっていた。これはある地区の取組だったのでその後区全体に広がったかは分からないが、いい取組だと思った。ぜひ、他の地域でやっていることを参考にしながら民生委員児童委員になりやすい仕組みを作っていくといいのかと思った。このようなことを計画のどの部分に盛り込めるかということなのだが、実践として工夫していくといいかと思う。</p>

発言者	発言要旨
田村委員	<p>区社会福祉協議会と老人会の立場から発言させていただく。先ほど現役世代への働きかけという意見があった。町内会・自治会などでは、子ども会や消防団は若い世代が担っている。消防団は常に地元にいる人じゃないと役割を果たせないし、日ごろからすごく訓練を積んでいる。子ども会は夏休みラジオ体操やお正月の色々な大会に出ている。区老人会の前会長も30代のころから子ども会をやり、70代まで続けていた。地元にいる人たちは若いころからこのように貢献しているが、勤め人の方たちは今70歳でも働いているということで、老人会でさえ全国的に加入が減っている状況。多摩区は横ばいを保っているが。</p> <p>ここで一つお願いしたいことがあるのだが、老人会には事務局の場所がない。区役所7階の区民活動・交流センターを会場とし、資料の印刷もできるが事務局員がいない状態なので、老人会の会長が全てを担わなければならない。各地区の会長も全てそうで、会長が動かなければ何も進んでいかない。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>70代まで働く方は増えており、仕事をしている人たちが地域の活動に参加しにくいという状況はおっしゃるとおりかと思う。老人会の事務局についてはこのようなご意見をいただいたということをご所管課に伝えていく。</p>
有北委員	<p>社会福祉協議会について、組織が変更されたということと事務局が今後移転されるということについて教えていただきたいと思う。</p>
飯土井所長	<p>社会福祉協議会はこれまで各区が法人格（社会福祉法人）を持っていたが、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会に一本化され、各区はそこに統合されるような形になる。このためより全市的に社協活動が円滑に、それぞれの地域の特性を踏まえながら、機能的にできるように市で1本化した、ということになる。それから多摩区の社会福祉協議会の事務所は区役所から向ヶ丘遊園駅までの道に新たな建物が建設されており、この4月に移転する予定。これまでの事務所は車いすで上に上がるのにエレベーターが無かったが、移転先はエレベーターがあり、3階を予定している。この新しい拠点で活動を続けていくということになる。</p>
吉田輝久委員	<p>先ほど民生委員のお話が出たが、定年は77歳と聞いている。地域には定年に達したから辞めますという人がいるが、もったいないと感じる。町内会・自治会としてもなったださる人を探せないという実情があるので、できるところまでやっていただけるとありがたい。意思があっても年齢の問題でということもあるので、その点が解消されるといいと考えている。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>民生委員児童委員の成り手不足解消の参考にさせていただきたい。</p>
和座長	<p>最後に、議事4その他、についてご発言はあるか。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>議事4でSDCの説明をしたいと考えていたが、有北委員、先ほどのお話で大丈夫か。これは登録をお願いしたい、ということによろしいか。</p>

発言者	発言要旨
有北委員	<p>先ほど説明させていただいた内容で結構。 お知り合いで活動されている団体や個人の方がいらっしゃったらぜひご紹介いただければと思う。よろしくお願いいたします。</p>
和座長	<p>S D Cについては皆様方で一緒に育てていくということで、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (瀧課長)	<p>和座長、議事の進行をありがとうございました。委員の皆様も積極的なご発言ありがとうございました。 それでは閉会に当たり、地域みまもり支援センター所長の飯土井から挨拶申し上げます。</p>
飯土井所長	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会の挨拶

以上